

農林水産商工常任委員会提出資料

(令和2年12月15日)

項 目	ページ
1 雇用就農支援の取組について 【農業大学校】……………	2
2 令和3年産米の生産数量目標について 【生産振興課】……………	3
3 鳥取市内における高病原性鳥インフルエンザの確認並びに国内の発生状況と本県の対応について 【畜産課】……………	4
4 漁業取締船「はやぶさ」の新船完成について 【水産課】……………	6
5 国 GoToEat キャンペーンに併せて実施する「Go To Eat 食のみやこ鳥取県キャンペーン」の実施状況について 【販路拡大・輸出促進課】……………	7

農 林 水 産 部

雇用就農支援の取組について

令和2年12月15日
農業大学校

農業大学校の雇用就農支援の取組について、以下のとおり報告します。

1 雇用就農相談会

近年、非農家出身の学生の増加や雇用就農の希望者が多くなってきていることと、併せて規模拡大を進める農業法人・農業者からの求人が増えてきている現状から、両者のマッチングの場として雇用就農相談会を開催し（年2回）、面談・情報交換を行っている。

近年は約60社/年が参加しており、学生・研修生への期待がうかがえる。また、学生は1年生の時から参加させ、事業者と直接話をして就農イメージを具体化するとともに、2年時の農家インターンシップ受入先のマッチングの場としている。

本年度は、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、7月及び11月に相談会を開催し、合計で40社を超える事業者の参加があった。ほぼ全ての参加事業者が「農家留学などの研修受入れも可能」であり、新規就農者育成に向けた連携を一層深めていきたい。

〔相談会の概要〕

(1) 日時：令和2年 7月16日（木）午後1時15分～4時
11月26日（木）午後1時15分～4時

(2) 会場：農業大学校 体育館

(3) 参加者

- ・農業法人等：鳥取県畜産農協哺育・肥育部門、(株)みんなの牧場、小林農園、むらおかファーム、(株)柳谷ファーム、(株)シルクファーム、(株)エイト、(株)ファームイング 外34社
- ・学生等：7月 農業大学校 1年生22人、2年生23人、研修生16人
11月 農業大学校 1年生20人、2年生12人、研修生6人、高校3年生1人

〔雇用就農相談会の参加事業者数と学生・研修生の就職者数〕

(単位：社・人)

年度	H28		H29		H30		R1		R2	
	7月	11月	7月	11月	7月	11月	7月	11月	7月	11月
参加事業者	29	36	26	36	36	21	32	20	23	19
参加学生等	48 (1)	64	36	42 (1)	57 (4)	45	41 (2)	48 (1)	61	39 (1)
就職者数	10		7		4		8		9**	

※参加学生等は研修生および外部参加者を含む。()は外部参加者数

※※R2の就職者数は、11月30日時点の内定者数を含む。

2 日野郡中山間営農ネットワーク協議会就職説明会

日野郡の農業人材を確保するため、日野農業改良普及所による調整のもと、日野郡中山間営農ネットワーク協議会、日野農業改良普及所、農業大学校が連携し、初めての試みとして就職説明会が開催された。日野郡の農業法人等への就業に関心のある本校の学生が参加し、学生1人1人が参加法人から会社概要等の説明を受け、活発な質疑応答が交わされた。

説明会后、参加された一部の法人からは参加学生を指名した求人もあり、本校の学生を紹介する絶好の機会となった。来年度以降も、協議会等との連携を一層深め、雇用就農支援に取り組んでいきたい。

〔日野郡中山間営農ネットワーク協議会〕

- ・平成28年設立（会長：古都久志（株）ファームイング 取締役会長）
- ・農業法人や個人農業者の21経営体が参加
- ・農地活用、人材確保、省力化技術の活用を主な課題として取組を進めている。

〔説明会の概要〕

(1) 日時：令和2年10月15日（木）午後2時～4時

(2) 会場：日野振興センター大会議室

(3) 参加者

- ・農業法人等：(株)ファームイング、(株)エイト、(有)だんだん、(一社)笠木営農組合、(農)エコファーム HOSOYA、(一財)日南町産業振興センター
- ・学生：農業大学校 1年生3名、2年生4名

(4) 参加者の声

- ・時間も限られており、もっと法人の話を知りたい。(参加学生)
- ・今後はインターンシップも積極的に受け入れていきたい。(参加法人)
- ・1年時から参加してくれることで2年間継続して自社のPRができる。(参加法人)
- ・今回のような取組は今後も継続していくべきだ。(参加法人)

令和3年産米の生産数量目標について

令和2年12月15日
生産振興課

12月4日に開催された鳥取県農業再生協議会（以下「県再生協」という。）で、令和3年産米の生産数量目標が設定されましたので、その概要について報告します。

1 全国の需給状況

国は、11月5日付けで「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」を策定し、令和3年産米の適正生産量を693万トンに設定した。

令和2年産米生産実績723万トンと比較すると、全国で30万トンと過去最大級の減産が必要となる。

2 本県の米生産の基本的な考え方

(1) 農業者やJA等は、販売先の確保に努めて、需要に応じた米づくりに積極的に取り組む。

(2) 主食用米と非主食用米のバランスを図りながら、各地域農業再生協議会（以下「地域再生協」という。）で計画的に作付推進を行い、水田農業の維持・拡大を図る。

(3) 県再生協では、今後とも県産米の需要動向を踏まえた「生産の目安としての生産数量」を地域再生協に提示するとともに、農家やJA等が生産量を判断する環境づくりを進める。

3 本県の令和3年産の具体的な米生産数量の設定等について

JAグループの販売計画、国の需給見通し情報等を勘案し、具体的には下記のとおり生産数量目標が設定された。

①各JAが作成する次年度の販売計画に基づく生産数量の合計：64,908トン

②令和2年産実績から、全国で必要となる減産量30万トンに本県シェア率0.88%を乗じた数量2,640トンを減じた生産数量：62,860トン

生産数量目標：62,860トン～64,908トン（面積換算値：12,227ha～12,623ha）

※令和2年産米実績との比較：▲592トン～▲2,640トン（▲177ha～▲573ha）

4 県の対応

(1) 11月13日、鳥取県地方6団体（県、県議会、県市長会、県市議会議長会、県町村長会、県町村議会議長会）は、野上農林水産大臣に対し、「水田活用の直接支払交付金」等の十分な予算確保等について要望を行った。

(2) 今後、国の令和2年度第3次補正及び令和3年度当初予算の編成の動きを注視しながら、県再生協メンバー等と連携のもと、必要な対応を検討していく。



野上農林水産大臣に要望を行った
平井知事等6団体

【参考】鳥取県農業再生協議会の構成

JA中央会長、3JA組合長、全農とっとり県本部長、農業法人協会会長、稲作経営者会議会長、指導農業士会長、市長会、町村会、JA女性会会長、関係団体代表（県土連、農業共済、農業会議、農業農村担い手機構等）

鳥取市内における高病原性鳥インフルエンザの確認並びに 国内の発生状況と本県の対応について

令和2年12月15日
畜産課
緑豊かな自然課

京都産業大学が独自に行っている調査で、12月7日に鳥取市気高町で採取された野鳥糞便から同月12日にH5亜型の高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出され、環境省が回収地点周辺10kmを野鳥重点監視区域に指定しました。この指定を受け、重点監視区域内等の野鳥の監視を強化したので報告します。

また、11月5日に香川県三豊（みとよ）市の採卵鶏農場で高病原性鳥インフルエンザが発生して以降、12月13日現在まで10県で24例が発生したのであわせて報告します。

1 高病原性鳥インフルエンザの発生状況

(1) 野鳥における検出状況

	採取地	種名	確定検査日	亜型	野鳥重点監視区域 指定状況
1例目	北海道紋別市	野鳥糞便	R2. 10. 30	H5N8	R2. 10. 30 解除(R2. 11. 23 24時)
2例目	鹿児島県出水市	環境試料(水)	R2. 11. 13	H5N8	R2. 11. 13
3例目	鹿児島県出水市	野鳥糞便	R2. 11. 17	H5N8	R2. 11. 17
4例目	鹿児島県出水市	環境試料(水)	R2. 11. 20	H5N8	指定済(R2. 11. 13)
5例目	新潟県阿賀野市	環境試料(水)	R2. 11. 25	H5N8	R2. 11. 25
6例目	鹿児島県出水市	環境試料(水)	R2. 11. 27	H5N8	指定済(R2. 11. 13)
7例目	新潟県阿賀野市	野鳥糞便	R2. 11. 30	H5N8	R2. 11. 25
8例目	和歌山県和歌山市	死亡野鳥(オトリ)	R2. 12. 9	H5N8	R2. 12. 3
9例目	鹿児島県出水市	環境試料(水)	R2. 12. 4	H5N8	指定済(R2. 11. 13)
10例目	岡山県矢掛町	死亡野鳥(ハブサ)	R2. 12. 9	H5N8	R2. 12. 4
11例目	宮崎県延岡市	野鳥糞便	R2. 12. 9	H5N8	R2. 12. 9
12例目	宮崎県都農町	野鳥糞便	R2. 12. 9	H5N8	R2. 12. 9
—	香川県三豊市	死亡野鳥(ノリ)	確定検査機関で検査予定		R2. 12. 10
13例目	鹿児島県出水市	環境試料(水)	R2. 12. 11	H5N8	指定済(R2. 11. 13)
14例目	鹿児島県出水市	環境試料(水)	R2. 12. 11	H5N8	R2. 12. 11
15例目	鳥取県鳥取市	野鳥糞便	R2. 12. 12	H5N8	R2. 12. 12

(2) 養鶏場における発生状況

(R2. 12. 13 現在)

発生県	鶏種	発生日	発生事例	処分羽数	防疫措置※
香川県	採卵鶏、種鶏、 肉用鶏	R2. 11. 5~12. 2	10例 15農場	1,709,302羽	7例は措置完了 3例は作業中(殺処分は完了)
福岡県	肉用鶏	R2. 11. 25	1例 1農場	91,945羽	完了(11月28日)
兵庫県	採卵鶏	R2. 11. 25	1例 1農場	145,024羽	完了(12月3日)
宮崎県	肉用鶏	R2. 12. 1~12. 13	6例 8農場	約329,000羽	5例は措置完了、1例は作業中
奈良県	採卵鶏	R2. 12. 6	1例 1農場	77,386羽	完了(12月7日)
広島県	採卵鶏	R2. 12. 7	1例 2農場	136,952羽	完了(12月9日)
大分県	肉用鶏	R2. 12. 10	1例 3農場	55,500羽	完了(12月11日)
和歌山県	採卵鶏	R2. 12. 10	1例 1農場	約67,000羽	作業中(殺処分は完了)
岡山県	採卵育成鶏	R2. 12. 11	1例 2農場	約640,000羽	作業中
滋賀県	採卵鶏	R2. 12. 12	1例 1農場	約11,000羽	作業中
合計			24例 35農場	約326万羽	

※防疫措置完了とは、殺処分、死体の処理、汚染物品の処分、鶏舎の消毒が全て終了した状態

2 本県の対応状況

(1) 野鳥関係

- ・東部については週1回だった野鳥の監視を野鳥監視重点区域（糞便採取の翌日から30日間：1/6まで）は毎日、その他の地域は隔日に強化。
- ・中・西部の河川、湖沼等の監視についても監視頻度を週1回から2回に上げて実施。
- ・野鳥の死亡及び衰弱個体を対象として、環境省のマニュアルに基づきウイルスの保有状況を調査。
- ・米子水鳥公園で10月に水鳥の糞便を100検体採取し環境省が検査。11/16に陰性の発表。追加調査を12/15に実施。
- ・12/9鳥取市気高町の日光池で環境水2検体、糞便10検体を採取し、鳥取大学で検査中。（近日中に検査結果が判明予定）
- ・野鳥関係団体、関係機関等と連携を図り、正確な情報提供を実施。その他愛玩鳥（家きんを除く）飼育者への情報提供を実施。

(2) 養鶏関係

- ・県関係機関による庁内連絡会議を計9回開催し、高病原性鳥インフルエンザへの対応を確認。養鶏場81農場に対し、立入検査（2回）、情報提供及び注意喚起を実施。全養鶏場で異常がないことを確認。
- ・家畜伝染病予防法第30条に基づく緊急消毒命令により県内養鶏場へ消石灰を2回配布し、消毒を徹底。
- ・香川県での発生により雛の導入などで影響を受ける県内の養鶏農場に対し、経営支援策（資金の無利子化）を措置し、情報提供。
- ・12/13の鳥取市気高町の日光池の野鳥糞便からの高病原性鳥インフルエンザの確認を受けて、確認地点から半径10km以内の農場3戸の立入検査を実施し、異常がないことを確認。その他県内養鶏場から聞き取り調査を実施し、全ての農場が異常がないことを確認した。
- ・県内での発生に備え、初動防疫訓練を実施予定（本庁：12/17、18予定、地方機関は実施済み）
- ・中国地方5県の広域連携協定に基づく支援として、岡山県からの要請に応じて12/12にパール缶（鶏を焼却するための容器）1,000個を輸送。

3 今後の予定

- ・野鳥の目視確認に加え、野鳥の糞便検査についても検討するなど野鳥のモニタリング体制の強化を図っていく。
- ・県内養鶏農場に対し消毒の徹底、野鳥の侵入防止対策等飼養衛生管理基準遵守の指導を継続して行う。また、万一県内での発生に備え、県の初動防疫体制や関係団体との連絡体制を強化する。

漁業取締船「はやぶさ」の新船完成について

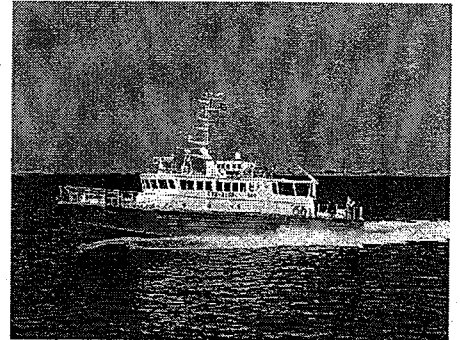
令和2年12月15日
水産課

漁業取締船「はやぶさ」の新船が完成し、12月8日に引渡式及び内覧会を行いました。

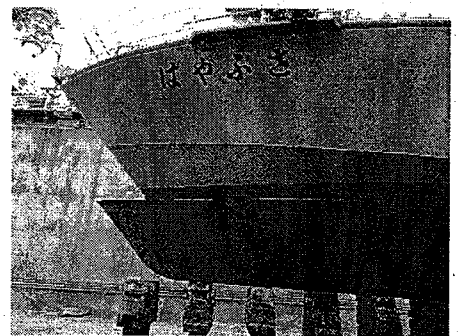
1 漁業取締船「はやぶさ」新船の概要（建造費:951,500千円 設計費:6,577千円 計958,077千円）

- ・キハラ式ステップ船首※などの特殊船型を採用したことにより、高速航行が可能となった。
- ・取締能力向上のため、電動開閉式赤外線フィルター付海上監視カメラ、船舶自動識別装置、レーダー装置2台を搭載した。
- ・小型船も搭載し、入り組んだ地形の海域、ロープの張り巡った定置網付近など取締船では入り込めない場所での取締や落水者の救助の対応が可能となった。

	新船	旧船
竣工	令和2年12月	平成15年2月
トン数	72トン	66トン
船体全長	29.3m	30.2m
速力	36ノット以上 (時速66.7km)	25ノット (時速46.3km)
エンジン出力	3,526kW	2,906kW
乗員数	6名	6名



漁業取締船はやぶさ



キハラ式ステップ船首

※ キハラ式ステップ船首

船の全長を伸ばすことなく、船型の流体力学的な長さを伸ばすことにより、船体抵抗を低減し、波浪中の上下運動を減少させる効果があり、荒天時でも高速航行が可能となる。

2 引渡式及び内覧会

- ・日 時 令和2年12月8日(火) 午前10時から正午まで
 - ・場 所 みさき会館大会議室及び境港市中野港
 - ・内 容 引渡書及び受領書の授受、旗の交換（鳥取県旗の掲揚）
船内の見学等
 - ・参加者 受注者及び漁業関係者約10名、報道機関4社
- ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当初の予定よりも規模を縮小して開催した。



(内覧会の様子)

(参考) 漁業取締船「はやぶさ」の活動内容

- ・鳥取県沖合で昼夜問わずパトロールを実施することで、漁業秩序を維持。
- ・操業禁止区域付近で操業する漁船など違反操業の疑いがある船に対しては、接近し、警告を行う。
- ・傷病人の救助、遭難者の捜索に対応。救助器材等を搭載し、普段から訓練も実施。
(荒天の場合、取締船員は陸上で以下の業務に従事)
- ・サザエ、アワビ、シジミ等の密漁対策として、海岸、東郷池等で夜間もパトロールを実施。
- ・鳥取県沖合で操業する県外漁船に対し、鳥取県沖のルールを説明し、違反操業を未然に防止。
- ・ばいかご漁業など漁具検査を実施し、違法操業を未然に防止。
- ・サイズ規制違反確認のため、漁業者が水揚げしたズワイガニ、サザエ、アワビのサイズ計測を実施。
- ・一般遊漁者に対して、声掛け等により禁止区域、禁止期間を周知。

国 GoToEat キャンペーンに併せて実施する
「Go To Eat 食のみやこ鳥取県キャンペーン」の実施状況について

令和2年12月15日
販路拡大・輸出促進課

感染予防対策に取り組みながら営業している飲食店及び食材を提供する農林漁業者を支援するため実施されている国事業「とっとり Go To Eat キャンペーン（食事券事業）」に併せ、県の追加企画として「Go To Eat 食のみやこ鳥取県キャンペーン」を実施しています。

1 県事業「Go To Eat 食のみやこ鳥取県キャンペーン」実施状況

(1) 期間

令和2年11月6日（金）～令和3年2月28日（日）



(2) 対象

県内の全飲食店 ※「とっとり GoToEat キャンペーン」登録飲食店以外も対象

(3) 概要

①#WeLove 鳥取 Eat！ 写真とメッセージを投稿してお店を応援しよう！（SNS で応募）

飲食店2店舗分の料理の写真と料理紹介やお店への応募メッセージを SNS（Twitter（ツイッター）または Instagram（インスタグラム））で投稿した応募者の中から、毎月抽選で39名に県産品（松葉ガニ、鳥取和牛、星空舞）をプレゼントする。

◇応募数：226件（11月抽選分）

◇主なメッセージ：

- ・飲食店を食べて応援します、コロナに負けずがんばれ！
- ・コロナ対策が万全だった
- ・GoToEat で贅沢ができた
- ・久々に訪問、行ってみたかったお店を訪問
- ・また行きたい等

②WeLove 食べ歩き！（はがきで応募）

飲食店3店舗分のレシート（1店舗1枚あたり1,000円以上）を集めて応募した者の中から、毎月抽選で39名に県産品（松葉ガニ、鳥取和牛、星空舞）をプレゼントする。

◇応募数：178件（11月抽選分）

2 国事業「とっとり GoToEat キャンペーン（食事券事業）」実施状況

(1) 事業実施者

とっとり GoToEat 共同事業体（株新日本海新聞社、株JTBC、中央印刷株）



(2) 事業概要

①食事券発行額：50億円（50万セット）

※1セットあたり利用金額10,000円（1,000円券×10枚）、25%プレミアム付

②期間：

- ・販売期間：令和2年11月2日（月）～令和3年1月31日（日）
- ・利用期間：令和2年11月6日（金）～令和3年3月31日（水）

③販売場所：

- ・百貨店、スーパー、日本海新聞販売窓口、ローソンチケット（全国のローソン）等

(3) 食事券販売状況等（12/6時点）

①食事券販売額：約10.6億円（約10.6万セット）

[内訳] 百貨店、スーパー等…約4.2億円（約4.2万セット）
ローソンチケット…約6.4億円（約6.4万セット）

②飲食店登録数：1,213店舗 ※店舗募集は12/11まで